（公社）兵庫県建築士会　姫路支部会報

姫路支部だより

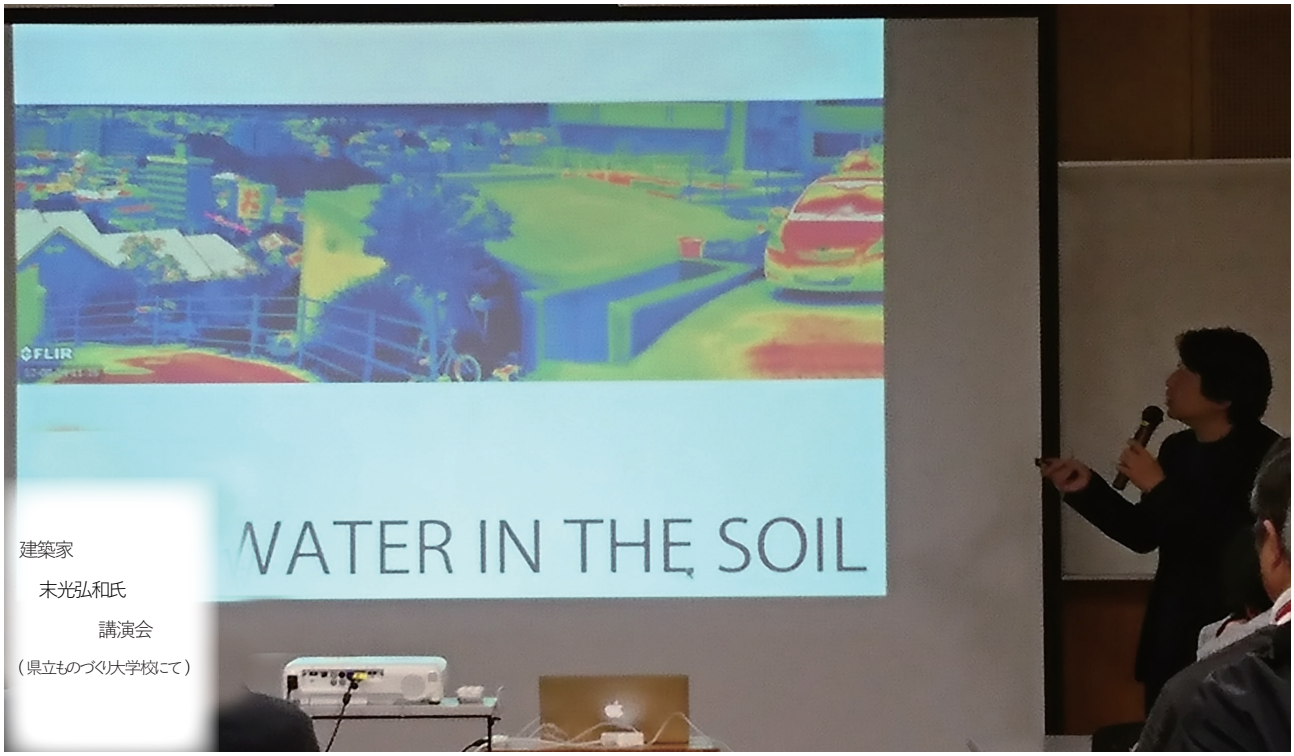
HIMEJISHIBUDAYORI

12
2017 December No.31

１ 11月の活動報告・事業報告
12月の活動予定

２ 60周年記念事業
シンポジウム報告　　山田克幸

３ 活動報告
第19回　建築家講演会　西脇聖嗣



建築家
末光弘和氏
講演会
（県立ものづくり大学校にて）

■ 11 月の活動報告

11. 8(水)　建築模型作り体験講座（県立ものづくり体験館）
11.12(日)　６０周年記念事業シンポジウム「播磨に住まう」(兵庫県立大学）
11.15(水)　環境デザイン研修会（姫路建設会館）
建築模型作り体験講座（県立ものづくり体験館）
11.20(月)　建築模型作り体験講座（県立ものづくり体験館）
11.25(土)　建築家　末光弘和氏　講演会（県立ものづくり大学校）
11.30 (木)　構造学習会（姫路建設会館）
建築相談（姫路市役所）

■ 12 月の活動予定

12. 5(火)　建築模型作り体験講座（県立ものづくり体験館）
12.8(金)～9(土)　全国大会（京都大会）・研修見学会(京都）
12.20 (水)　環境デザイン研修会（姫路建設会館）
12.21 (木)　構造学習会（姫路建設会館）
12.22 (金)　「山崎断層と播磨平野」　講演会（姫路じばんさんビル）
忘年会（旬美 魚町店）
12.28 (木)　建築相談（姫路市役所）

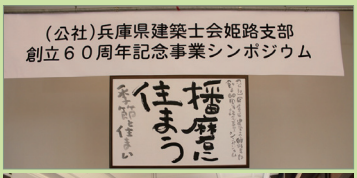
■事業報告

構造学習会
11月30日　第8回構造学習会を開催しました。
木造軸組工法の梁の応力計算と耐力壁について学習しました。
参加者20名で、皆さん熱心に聴講され、講義後は活発に質疑されていました。　　報告者　石原

■事業報告

６０周年記念事業
シンポジウム
「播磨に住まう」
（兵庫県立大学）
無事終了いたしました。
（詳細後述）

（公社）兵庫県建築士会姫路支部創立 60 周年記念事業シンポジウム
「播磨に住まう～季節と住まい編～」報告書



日時：　２０１７年１１月１２日（日）
　　１３：００～　開場（パネル展示見学可）
　　１４：００～　Ⅰ部『シンポジウム』
　　進行（コーディネーター）：岩田 健三郎（版画家）
　　登壇者（パネリスト）：
　　山田 克幸※
　　栗原 恒夫※
　　加藤 孝之※
　　景山 誠※
　　石原 弘一※
　　東影 弘喜※
　　黒木 大亮※
　　土川 忠浩　（兵庫県立大学）
　　※は兵庫県建築士会姫路支部メンバー
　　１６：００～　Ⅱ部『パネル展示』
　　１７：００　　閉会
会場：　兵庫県立大学　環境人間キャンパス講堂（姫路市新在家本町１丁目１－１２）
参加者：約 60 名（登壇者、スタッフ除く）

報告：

環境デザインを切り口に・・・

２０１５年５月から毎月開催している「環境デザイン研修会」では、環境デザインを切り口に、様々な職種の会員が集い、参加者それぞれが学び、互いに意見を交わす形で、「播磨（姫路）の建築・住まい」について考えてきました。

地域の環境が教えてくれるもの・・・

「播磨に住まう」：地方で（地域で）仕事をする建築士にとって、取り組むべきテーマの一つではないでしょうか。周囲の環境を丁寧に観察し、その地で住まうからこその肌感覚のようなものを建物に取り込むことができないか試行錯誤していく、そのような狙いをもって始めたのが「環境デザイン研修会」です。２年が経ち、ここで得た知見を反映し新たな試みを取り入れた住宅も竣工しています。

これまでの研修会での成果をパネル展示し、市民の方へ発表しました。

住まいと暮らしをテーマにしたシンポジウム

これまでは、通風、日射、断熱などの熱環境と気候に関する話題を取り上げていましたが、今後は「環境」という言葉の解釈を広げ、地域の歴史や文化、暮らし、この地域に住まう人々の気質などもテーマにしていきたいと考えています。

「環境デザイン研修会」のメンバーが、日頃から播磨という地域をどのように捉えていて、その地域での家づくり・建築をどのように考えているのかなどを、話し合いたいと考え、播磨地域での住まいと暮らしをテーマにしたシンポジウム「播磨に住まう」を、併せて開催しました。

参加された皆様と一緒に、「播磨に住んでいる、暮らしている」ということを意識し、日頃の暮らしや住まいのあり方を考える機会がつくれたのではと思っています。

地方で仕事をする・・・

このシンポジウムを通して、「地域に住まうことを真摯に考え、仕事に取り組んでいる建築士が姫路にいること」、「地域の建築士だからこそ考えることができる建物があるということ」を、この地域に住まう一般の方に、知らせたい、伝えたいとも考えました。十分とは言えないですが、これから地方で仕事をする建築士のあり方の一つを提示できたのではないかと思っています。
（山田）

登壇者の感想：

シンポジウムのテーマは『播磨に住まう』でしたが、今回のシンポジウムで、自分にとって播磨や姫路をしっかりと考える機会になりました。

私が播磨を一言で表すなら『豊か』です。なぜなら、姫路は気候風土も比較的温暖で、食も充実しており、歴史･文化も深いものがあるからです。

このような地域である播磨で家を建てるなら、温暖な気候を生かして自然を積極的に取り入れられる家にしたいと考えました。

一方で、今回初めてパネリストをさせていただき、貴重な経験ができました。

ありがとうございました。　（景山）

姫路支部６０周年記念事業シンポジウムという晴れの舞台で環境デザインについて発表する機会をいただき、山田副支部長をはじめ、環境デザイン研究会の皆様に心より感謝申し上げます。

私は「住宅における夏の暑さと冬の寒さに対し、いかに室内環境を省エネで快適に保てるか？」を探求すべく熱力学を勉強し、正しい素材選定と施工方法を確立していきたいと思っています。今回はその一端をパネル展示させていただきました。

今後も環境デザイン研修会のメンバーと研鑽しながら、播磨に適した住まいづくりの提案ができるよう頑張っていく所存です。　（石原）

この度のシンポジウムについて、会場の雰囲気をほんわかして頂いた版画家の岩田健三郎様、会場提供に御尽力頂いた兵庫県立大学教授の土川忠浩先生、そして会場の設営・進行等の御協力をして頂いた建築士会・学生スタッフの皆様、御多忙のところ本当に御世話になり有難う御座いました。

「播磨に住まう」を考えた時、自分自身が播磨地域に御世話になっていることを深く再認識することができました。播磨の気候・風土等、大変有意義な討論となり大変良かったと思います。播磨の環境を肌感覚で覚えている播磨に住まう建築士の経験豊富な知識と知恵を発信出来たことは、地域貢献の第一歩に繋がり播磨の建築士としての未来への希望を感じました。

このシンポジウムを期に、より一層環境デザインに取り組み、技術レベルの向上に努め、建築が建つことになる播磨の力・風景・歴史・記憶と、新しく生まれる建築というものが融合することによって、新しい播磨が生まれるような建築を創造し、地域に必要とされる建築士になれたらと考えています。　（東影）

平成 29 年度　姫路支部事業活動

建築家講演会報告

日時　平成 29.年 11 月 25 日（土）14：30 ～ 16：30（14：00 開場）
場所　兵庫県立ものづくり大学校
参加者　３７名

姫路支部では著名な建築家を招いての講演会を定期的に開催しています。今年度は非常にご多忙の中、東京から末光弘和氏を迎えての講演会となりました。

内容は「デザインとエンジニアリングの横断」と題して、末光氏が関わった建築をはじめ、環境についての考え方を示していただけました。会場からの質疑にも丁寧に解説いただき、自身の設計プロセスについても詳しく聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。また講師控え室、懇親会では支部会員の皆で末光氏を取り囲み、建築話しや普通では聞けない裏話などを多々聞くことができ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

（報告：西脇聖嗣）